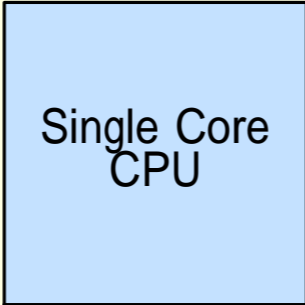
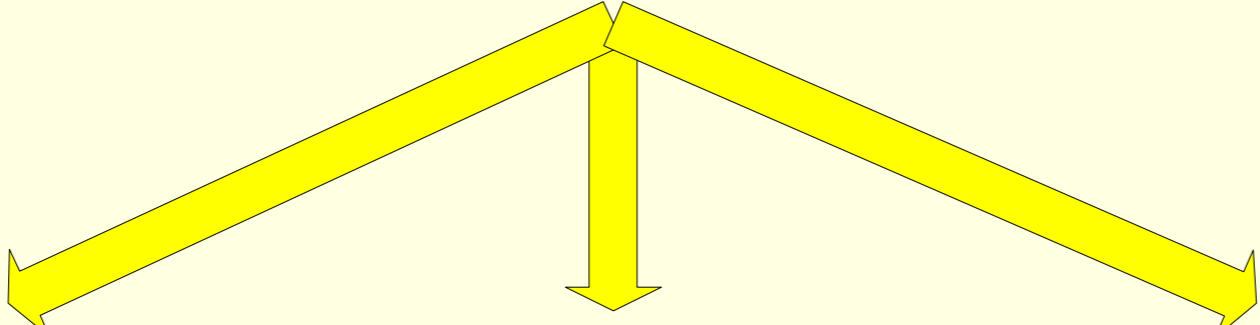


マルチコアに向けたCPUの進化の方向性



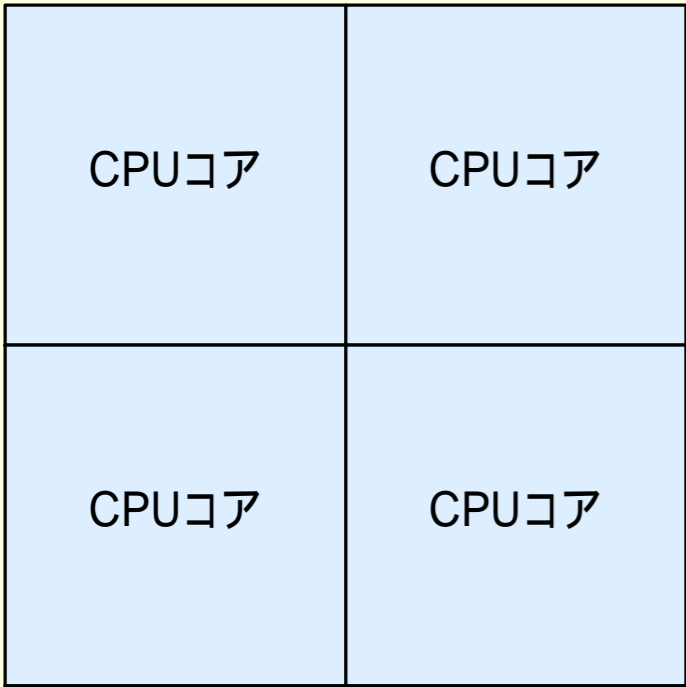
シングルコアの性能を高めるために効率を犠牲にしている。コア当たりのパフォーマンスは高いが、パフォーマンス/TDPは低い



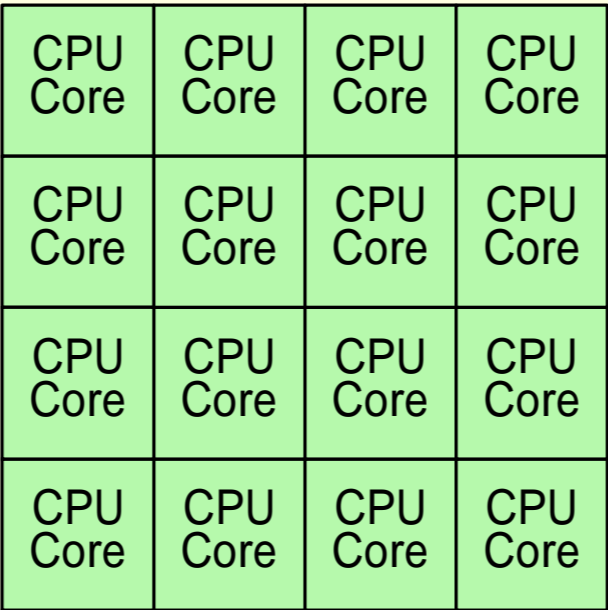
より複雑だが電力効率の高いコアアーキテクチャを開発する

よりシンプルなコアアーキテクチャへ戻る

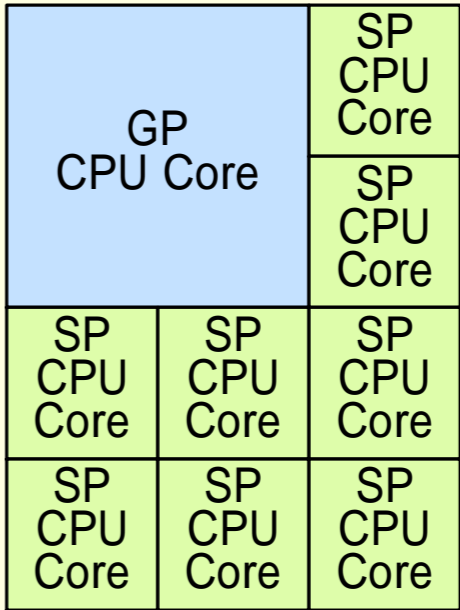
特定用途向けCPUコアを開発する。(汎用CPUコアとの組み合わせも)



コアはより複雑になるがパフォーマンス/TDPは高くなる。コア当たりのパフォーマンスも向上する。



シンプルコアはパフォーマンス/TDPが高いため、大規模なマルチコア化が容易になる。コア当たりのパフォーマンスは下がる。



マルチメディア処理など特定用途向けのCPUコアを多数搭載する。必要なら汎用CPUコアも組み合わせる。特定処理時のパフォーマンス/TDPは非常に高くなる。